

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科書	地理歴史	科目	世界史探究		学年	2年次	単位数	3単位	
教科書	東京書籍 世界史探究			副教材					
レポート 添削指導		9通	スクーリング 面接指導	3回	メディア 視聴票	2通	試験	2回	
指導目標	① 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 ② 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ③ 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して洞察される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。								
No	日付	レポート提出日	単元	学習内容			面接回数	メディア(NHK高校講座)	
1	4月12日	5月8日	・古代文明の出現 ・西アジアと地中海周辺	○農耕と牧畜のはじまりにより人類の生活様式が大きく変わったことや、地球上のさまざまな自然環境に応じて文明が誕生したことについて理解する。 ○西アジアと地中海周辺の国家がどのように影響を及ぼしあい、どのような共通点をもっているかなどについて理解する。			2	1 世界史へのまなざし 2 古代オリエント 3 古代ギリシア・ローマと地中海 4 古代の南アジア 5 古代の東南アジア 6 古代の中国と中央ユーラシア	
2	5月8日	5月22日	・南アジア ・東南アジア ・東アジアと中央ユーラシア	○南アジアの国家や社会の特徴について理解する。 ○東南アジア地域における国家形成が交易や思想・文化とどのように関係しているのかなどについて理解する。				7 探究1 古代文明の特質 8 西アジアのイスラーム政権 9 東ヨーロッパの成立 10 西ヨーロッパの成立と変容 11 宋とモンゴル帝国 12 大交易の時代	
3	5月22日	6月5日	・アフリカ、オセアニア、古アメリカ ・イスラーム世界の拡大と繁栄	○ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴について、自然環境との関わり注目しながら理解する。 ○アジア・アフリカの広大な地域が、イスラーム文明圏としてまとまった理由などについて理解する。				13 西アジア・南アジアの諸帝国 14 清とユーラシア 15 朝鮮王朝 16 ルネサンスと宗教改革	
4	6月5日	6月19日	・中世ヨーロッパ ・中華世界の変容とモンゴル帝国	○9世紀から15世紀にかけて、ヨーロッパ世界ではどのような政治、経済、社会、文化の変動があったのか。また、それらの変動の結果は後世のヨーロッパにどのように継承されていったのかなどについて理解する。 ○歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解する。					
5	6月19日	7月4日	・インド洋海域世界の発展と東南アジア ・大交易時代と世界の一体化	○インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりが一様でなかった要因などについて理解する。 ○大交易時代に、なぜ世界の各地で社会がほぼ同時に大きく変化したのか。また、世界の諸地域間の関係は、前後の時代と比べてどのように特徴づけられるのかなどについて理解する。					
6	7月4日	10月16日	・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	○16世紀から18世紀にかけて、アジア諸地域に成立した諸帝国が比較的安定した社会を維持できたのはなぜか、また経済的繁栄はどのようにもたらされたのかなどについて理解する。 ○16世紀から17世紀にかけてヨーロッパにあらわれた新しい国家には、どのような特徴があったのか。また、その形成にはどのような要因が働いていたのかなどについて理解する。			1	17 主権国家体制の形成 18 国際商業と大西洋三角貿易 19 探究2 諸地域の交流と貿易の発展 20 産業革命と社会問題 21 アフリカ諸国の独立とフランス革命 22 ヨーロッパと諸国民 23 アメリカ合衆国の発展 24 19世紀の西・南・東南アジア諸地域 25 19世紀の東アジア諸地域 26 帝国主義と世界分割 27 第一次世界大戦とロシア革命 28 戦間期の世界諸地域 29 第二次世界大戦と第二次世界大戦 30 探究3 資料から歴史をえよう 31 冷戦構造の成立と展開 32 アジア、アフリカの脱植民地化 33 東アジアの現代史 34 バレスタナ問題と現代の中東 35 ヨーロッパの現代史とEU 36 アメリカ合衆国とラテンアメリカの現代史 37 ソ連、東欧の現代史と冷戦終結 38 経済のグローバル化 39 中国の台頭と多極化 40 探究4 地球の課題と世界史	
7	10月16日	10月29日	・国民国家と近代社会の形成 ・世界市場の形成とアジア諸国の変容 ・アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	○18世紀半ばから19世紀半ばにかけて、欧米で産業革命や、国民が政治の主体となる国家を建設しようとする動きが広がったのはなぜか。また、このような変革は、現代までのどのような影響を与えているのかについて理解する。 ○産業革命で先行したイギリスが19世紀半ばに自由貿易体制を推進したのに対し、後発のヨーロッパ諸国はどのように対応したのか。また、ヨーロッパの工業化の波はアジア諸国に何をもたらしたのかについて理解する。 ○アジア諸国が自国の危機をどのように認識し、欧米列強と対峙しながらいかに改革をすすめたのか。また、欧米列強はなぜアジアをアフリカより優先したのかについて理解する。					
8	10月29日	11月13日	・第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 ・国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	○第一次世界大戦は、なぜ「世界大戦」とよばれる、それまでの戦争とどのような点において異なるのか。そして、それぞれの地域において戦争の経験はどのような意味をもったのかなどについて理解する。 ○世界恐慌は、経済や政治をどのように変化したのか。また、そのなかで台頭したファシズム国家によってひきおこされた第二次世界大戦の推移は、戦後の国際秩序の再編にどのような影響を与えたのかについて理解する。					
9	11月13日	11月27日	・第二次世界大戦と戦後の東アジア ・グローバル化と地球的課題	○第二次世界大戦中のアジアの戦後構想と実際のアジアの戦後は、どのような点が連続し、あるいは異なっていたのかについて理解する。 ○国際機構の形成と平和への模索、経済のグローバル化と格差の是正、科学技術の高度化と知識基盤社会などに関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、地球世界の課題を読み解く観点について理解する。					
学習の成果に係る評価規準									
【知識・技能】									
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。									
○諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。									
【思考力・判断力・表現力】									
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。									
○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。									
【主体的に学習に取り組む態度】									
○世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。									
○国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。									
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。									
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。									
単位の修得の認定に関する基準									
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。									